



# 12月1日(日)は 地域防災の日



## 災害に備える ～自らの命・地域を災害から守る～

6月に、県の第4次地震被害想定（第一次報告）が発表され、駿河・南海トラフ大地震、相模トラフ大地震による被害がそれぞれ想定されました。今までよりも広域による被害が想定されています。被災地への支援が限られる中、「自分の命は自分で守る」自助の考え方がより重要になってきています。災害が来てから考えるのでは手遅れです。日ごろから、災害への備えを万全にし、万が一災害が起きたときの行動を家族で決めておきましょう。



市民部 防災交通課  
995-1817

### 家族で防災について考えましょう！

#### ●避難場所・避難経路の確認

避難場所や経路、所要時間などを予め知っておけば、余裕をもって避難できます。避難先までのルートを実際に歩いて安全を確認しましょう。

#### ●家族の安否確認

大災害発生時は、電話がつながりにくい状況が続きます。家族の安否確認は災害用伝言ダイヤル（☎171）や災害用ブロードバンド伝言板（Web171）を活用しましょう。遠くに住む親戚や知人の家の中継点にするのも一つです。

### 不便な避難所生活を回避するために…

避難所では、狭い、騒がしい、プライバシーが無い、食べ物が少ないなど大変不便な生活が予想されます。日ごろの備えが、避難所生活の回避につながることもあります。避難所で生活しなくてもすむように備えましょう。

#### ●水・食料は7日分

災害の規模によっては、物資が不足することもあります。各家庭で、飲料水（1人1日3ℓ）、食料品を7日分（うち非常食3日分）を用意しておきましょう。



#### ●防災用品はまとめてすぐに持ち出せるように

備蓄品などは一つにまとめ、すぐに持ち出せる状態にしておきましょう。また常備薬やメガネ、入れ歯、補聴器など家族に必要なものも追加しましょう。

#### ●家具の配置と固定

寝室や子供部屋、高齢者の部屋など家族が長時間過ごす部屋にある家具の固定や配置などを再確認しましょう。

#### ●家の耐震化

昭和56年以前に建てられた家屋は、耐震診断を受け、必要に応じて補強しましょう。それ以降に建てられた家屋の点検・整備も必要です。

#### ●火災に注意

寒くなると火の扱いが増えます。火のもとから離れるときは火を消しましょう。

### 防災訓練に参加しましょう

市内の各区自主防災会ごとに実施されます。住んでいる区の防災訓練の予定を確認し、積極的に参加して地域防災の輪を広げましょう。

### 12月1日に 訓練用緊急速報メールを送信

12月1日(日)午前9時に、県による緊急速報メール（エリアメール）の県下一斉配信訓練が実施されます。NTTドコモ、au、softbankの携帯電話、スマートフォン、タブレット端末など（対応機種）を持ち、県内にいる方が対象です。マナーモードでも携帯電話などが鳴動する可能性があります。不都合がある方は、午前9時前に電源をOFFにしてください。